

Fight !



# 口コモ 12-1

なまえ

---

たしざんをしましょう。

$1 + 9 =$

$6 + 9 =$

$2 + 9 =$

$7 + 9 =$

$3 + 9 =$

$8 + 9 =$

$4 + 9 =$

$9 + 9 =$

$5 + 9 =$

$4 + 9 =$

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

たしざんをしましょう。

$3 + 9 =$

$5 + 9 =$

$7 + 9 =$

$1 + 9 =$

$2 + 9 =$

$6 + 9 =$

$9 + 9 =$

$8 + 9 =$

$6 + 9 =$

$4 + 9 =$

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

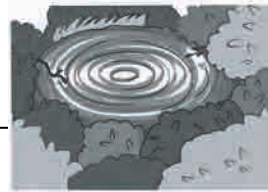
# 口コモ 12-3

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

み 身 から 出 た

うお す 魚 棲 ます



み 三 つ 子 の 魂

きね づか 杵 柄



みず きよ 水 清 ければ

ひやく 百 まで



む よう 無 用 の

さび 錆



むかし と 昔 取 った

ちよう ぶつ 長 物



# 口コモ 12-4

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

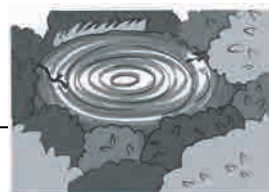
むよう  
無用の

さび  
錆



みで  
身から出た

うおす  
魚棲まず



みずきよ  
水清ければ

ちょうぶつ  
長物



むかしと  
昔取った

ひやく  
百まで



みごたましい  
三つ子の魂

きねづか  
杵柄



# ロコモ 12-5

せん  
線でむすびましょう。

なまえ

み ご たましい  
三つ子の魂  
ひやく  
百まで

ただ  
正しいことばかり言って、ひと  
ゆる  
許さない仲間ができないよ



む よう ちょうぶつ  
無用の長物

あっても、かえてじゃまだね



むかし と きね づか  
昔取った杵柄

おお  
大きくなっても変わらない  
なあ



み で さび  
身から出た錆

むかし み  
昔身につけたうでまえは  
おとろえないぞ



みず きよ  
水清ければ  
うお す  
魚棲まず

あんなことしなきゃよかったなあ



# 口コモ 12-6

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

むかしと きね づか  
昔取った杵柄

あっても、かえってじゃまになるもの



みず きよ  
水清ければ  
うお す  
魚棲まず

おきな ころ せいかく きしつ いっしょう  
幼い頃の性格や気質は一生  
変わらない



み ご たましい  
三つ子の魂  
ひやく  
百まで

わか ころ  
若い頃にきたえた得意の  
うで まえ  
腕前



み で さび  
身から出た錆

じぶん のした わるい 行いが げんいん  
で、あとで自分が苦しむ



む よう ちょうぶつ  
無用の長物

あまりに せいれん けっぱく  
清廉潔白すぎると  
ひと に親しまれない



# 口コモ 12 - 7

なまえ \_\_\_\_\_

かけざんをしましょう。

$$10 \times 10 =$$

$$11 \times 11 =$$

$$12 \times 12 =$$

$$13 \times 13 =$$

$$14 \times 14 =$$



100 121 144 169 196



かけざんをしましょう。

$$13 \times 13 =$$

$$14 \times 14 =$$

$$15 \times 15 =$$

$$16 \times 16 =$$

$$25 \times 25 =$$

169 196 225 256 625

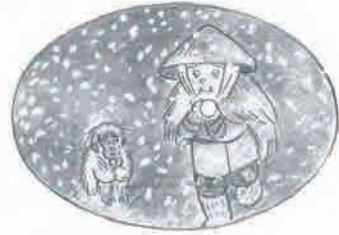
口コモ 12-9

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

おのい  
斧<sup>い</sup>入れて

さる<sup>さる</sup>もこ<sup>こ</sup>みの<sup>みの</sup>を  
ほしげなり



はつ  
初<sup>はつ</sup>しぐれ

か<sup>か</sup>菓子<sup>し</sup>うつくしき  
冬<sup>とう</sup>至<sup>し</sup>かな



ぶつだん  
仏<sup>ぶつだん</sup>壇<sup>だん</sup>の

か<sup>か</sup>香<sup>か</sup>におどろくや  
ふゆ<sup>ふゆ</sup>冬<sup>ふゆ</sup>木<sup>こ</sup>立<sup>だち</sup>



口コモ 12-10

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ぶつだん  
仏壇の

か香におどろくや  
ふゆ冬 こだち木立



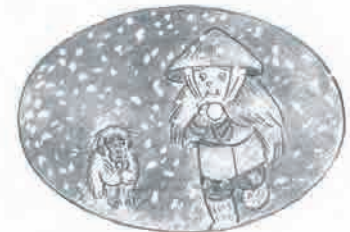
はつ  
初しぐれ

か菓<sup>し</sup>子うつくしき  
どう冬 じ<sup>し</sup>至かな

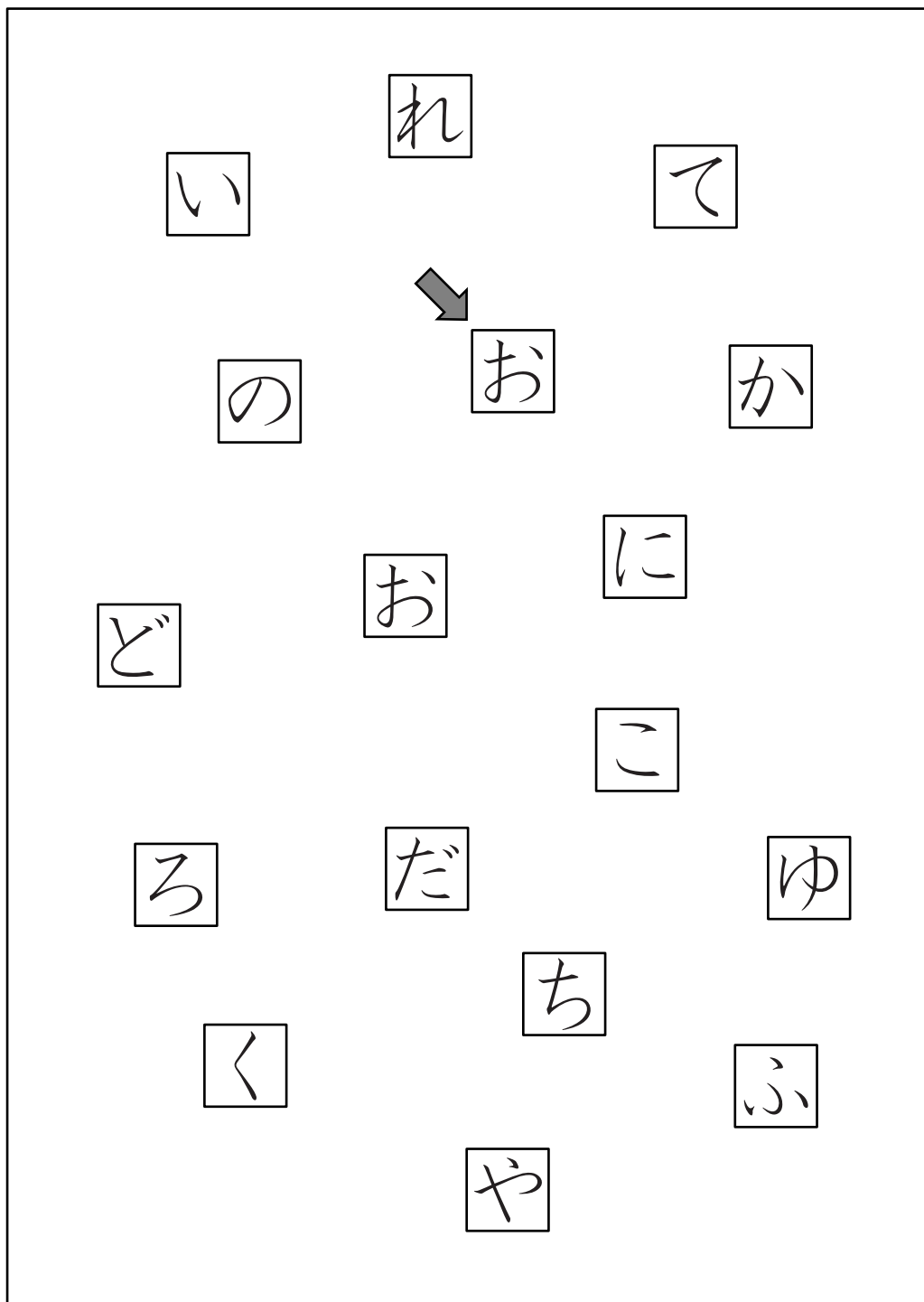


おのい  
斧入れて

さる<sup>さる</sup>もこ<sup>こ</sup>みの<sup>みの</sup>蓑を  
ほしげなり



線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

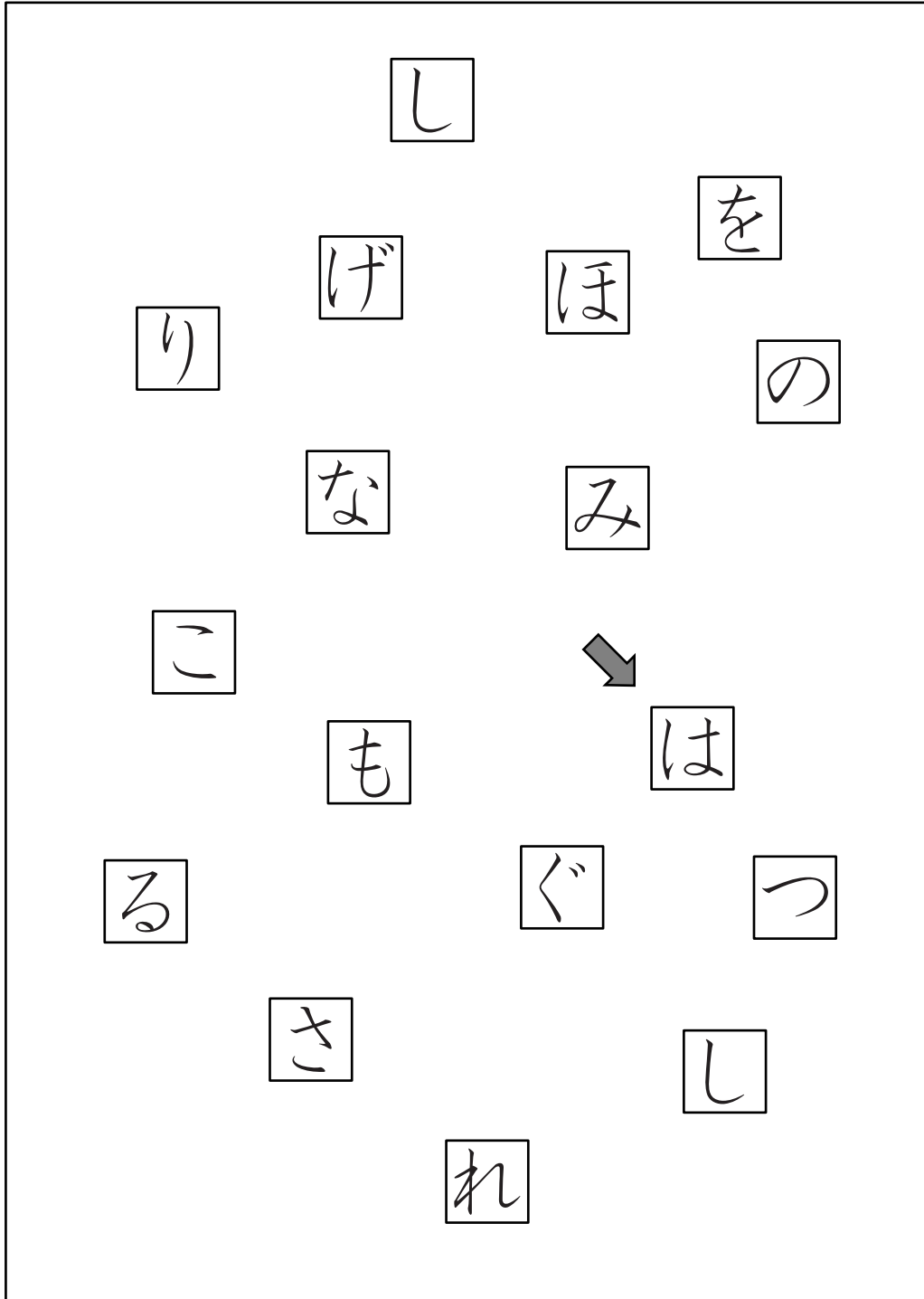


おのいれてかにおどろくや……

口コモ 12 - 12

なまえ

せん  
線でむすびましょう。



は  
つ  
し  
ぐ  
れ  
.  
.  
.  
.

口コモ 12 - 13

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ぶつだんの  
の  
……

つ と き う  
く じ し か  
う し な  
し ぶ つ か だ  
の ん

口コモ 12 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			お
		か	□
		□	い
		お	れ
	□	ど	て
	ゆ	ろ	
	こ	く	
	□	□	
	ち		
与 謝 蕪 村			

口口モ 12 - 15

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

は

し

ぐ

れ

さ

る

こ

み

を

し

げ

り

松<sup>まつ</sup>  
尾<sup>お</sup>  
芭<sup>ば</sup>  
蕉<sup>しょう</sup>



口コモ 12 - 16

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

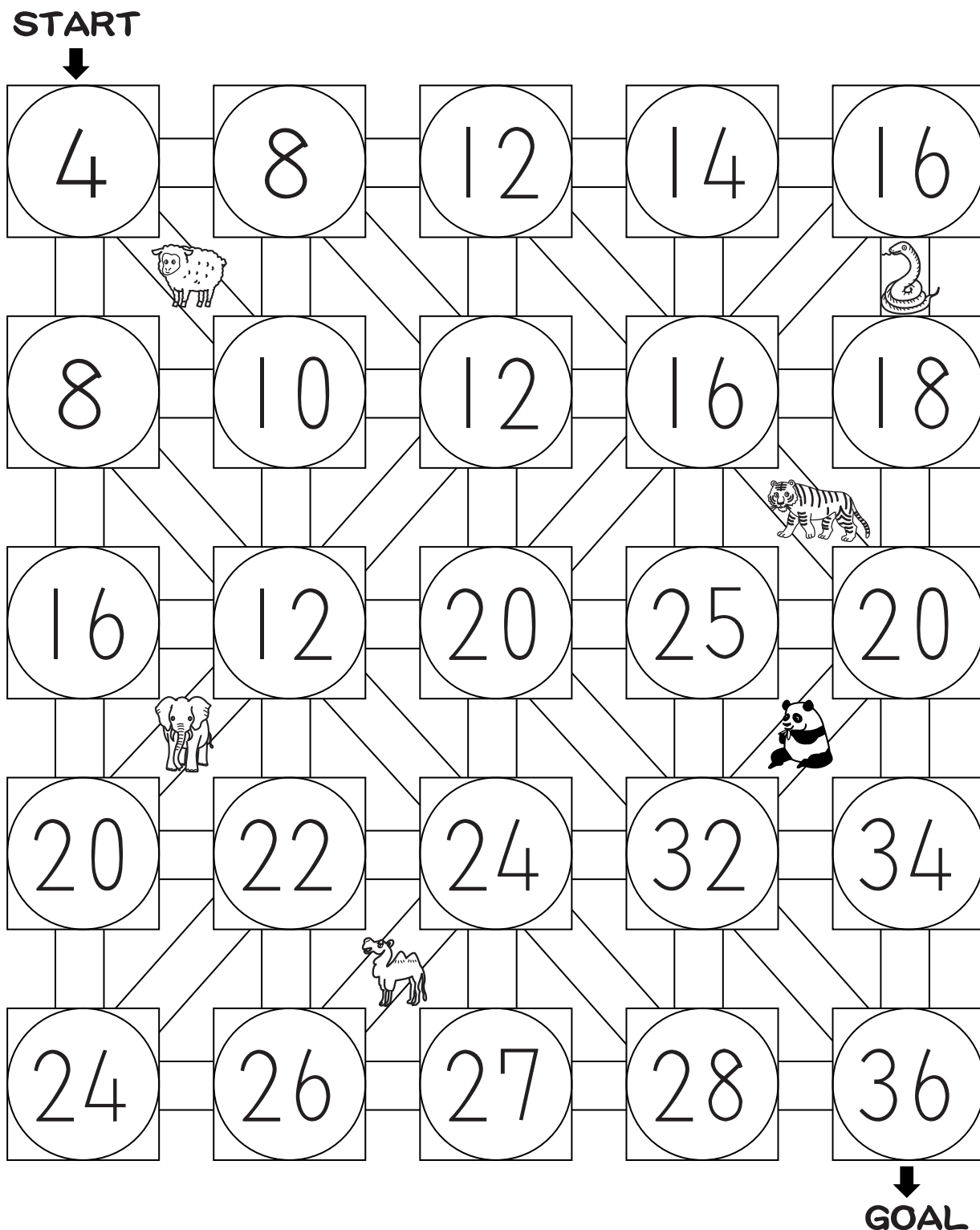
			ぶ
		か	□
		□	だ
		う	ん
		つ	□
	と	□	
	う		
	□	し	
		き	
	か		
	な		

まさおかしき  
正岡子規

# 口コモ 12 - 17

なまえ

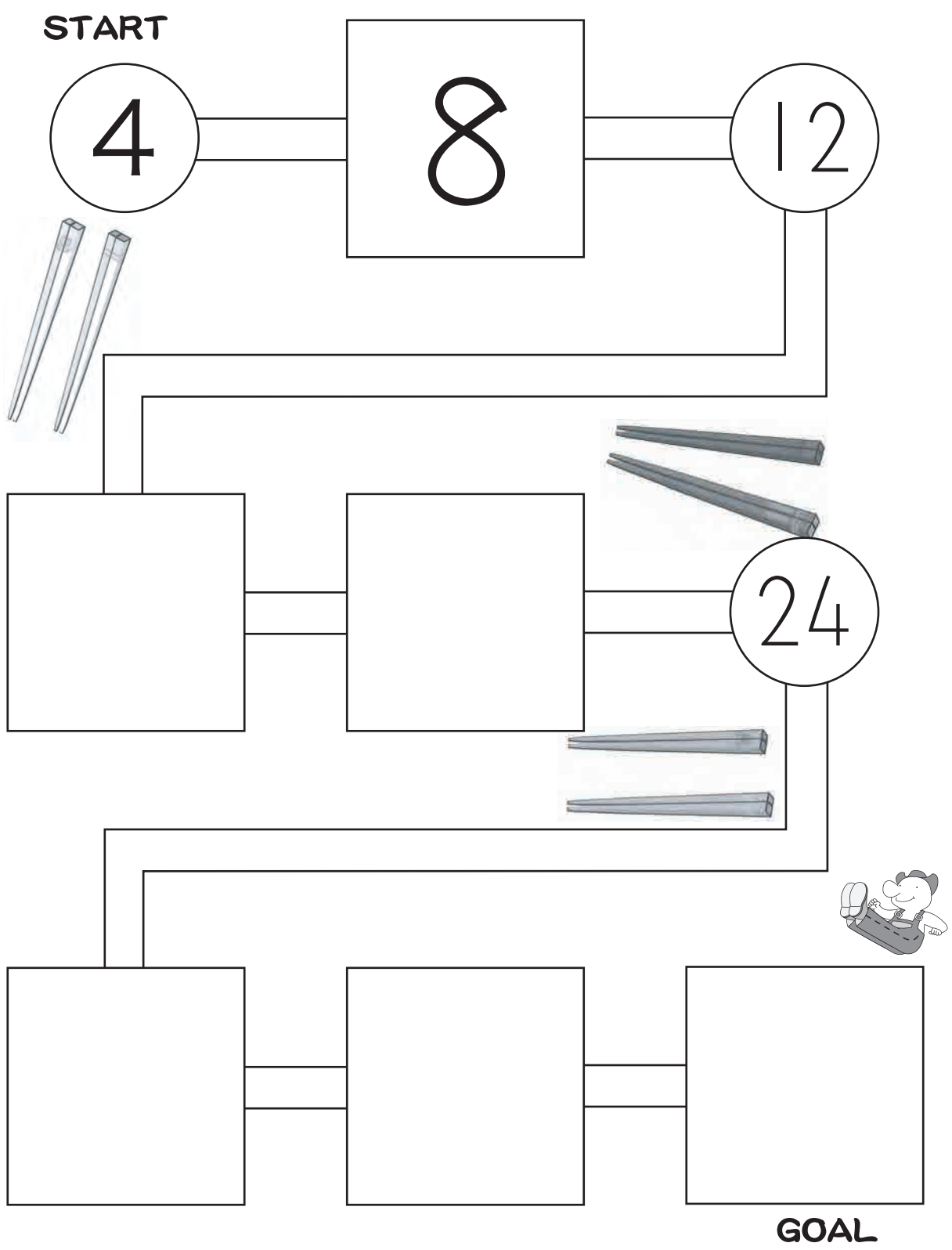
4とびで、GOAL までいきましょう。



口コモ 12 - 18

なまえ

あいている□の中なかに4とびで数字すうじをかきましょう。



# ロコモ 12-19

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

みず  
水

に<sup>きざ</sup>刻む



かど  
角

を<sup>さ</sup>差す



むね  
胸

が<sup>た</sup>立つ



線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

みず<sup>みず</sup>をさ<sup>さ</sup>す

しっかりおぼえて  
おこう



かど<sup>かど</sup>がた<sup>た</sup>つ

じゃまだね



むね<sup>むね</sup>にきざ<sup>きざ</sup>む

おだやかでないなあ



線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

みず<sup>みず</sup>をさす<sup>さす</sup>

うまくいっていることに、わきからじゃまをする



かど<sup>かど</sup>がたつ<sup>たつ</sup>

しっかりと覚えておこう<sup>おぼ</sup>



むね<sup>むね</sup>にきざ<sup>きざ</sup>む

人との間<sup>あいだ</sup>が穏やか<sup>おだ</sup>でなくなる



下から選んで慣用句をつくりましょう。

に<sup>きざ</sup>刻む

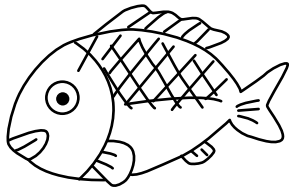
を<sup>さ</sup>差す

が<sup>た</sup>立つ

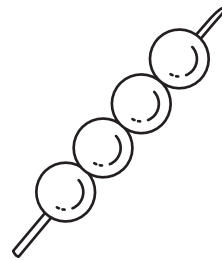


かど みず むね

わかもの 若<sup>わか</sup>者<sup>もの</sup>が かみさま 神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>に いし 石<sup>いし</sup>うす 石<sup>いし</sup>臼<sup>うす</sup>で だ 出<sup>だ</sup>して もらった もの は  
何<sup>なん</sup>ですか？



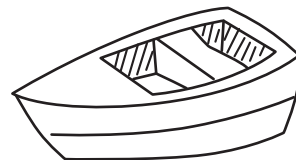
さかな



だんご



もち



ふね



どろぼうはどうして石うすで塩を出したの  
ですか？



- 1 塩は高く売れると思ったから。
- 2 石うすをこわしてしまい、とつぜん塩が出てきた。
- 3 あんころもちをいっぱい食べて、今度は塩がなめたくなったから。

# 口コモ 12 - 25

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ひと  
人はいさ  
こころ し  
心も知らず ふるさとは



きりた  
霧立ちのぼる  
あき ゆうぐ  
秋の夕暮れ



むらさめ  
村雨の  
つゆ ひ  
露もまだ干ぬ まきの葉に



みだ け さ  
乱れて今朝は  
もの おもえ  
物をこそ思へ



たま お  
玉の緒よ  
た た え  
絶えなば絶えねながらへば



はな むかし  
花ぞ昔の  
か おい  
香ににはほひける



なが ん  
長からむ  
こころ し くろかみ  
心も知らず 黒髪の



しの  
忍ぶることの  
よわ  
弱りもぞする



口コモ 12 - 26

なまえ

---

せん  
線でむすびましょう。

むらさめ  
村雨の  
つゆ 露もまだ干ぬ まきの葉に

みだ け さ  
乱れて今朝は  
もの をこそ思へ

なが ん  
長からむ  
こころ し 心も知らず 黒髪の

しの  
忍ぶることの  
よわ 弱りもぞする

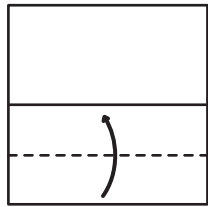
ひと  
人はいさ  
こころ し 心も知らず ふるさとは

きり た  
霧立ちのぼる  
あき ゆうぐ 秋の夕暮れ

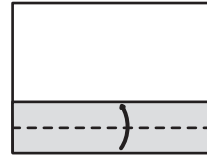
たま お  
玉の緒よ  
た た え 絶えなば絶えねながらへば

はな むかし  
花ぞ昔の  
か 香ににはひける

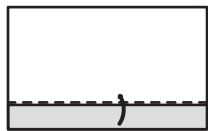
《ひこうき》



- 1 さいしょに はんぶんにおり もとにもどしたはんぶんを まんなかのせんの方に はんぶんにおる



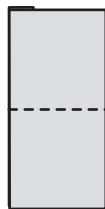
- 2 さらに はんぶんにおる



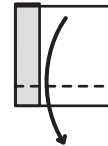
- 3 まんなかの おりめで さらに たにおりをする



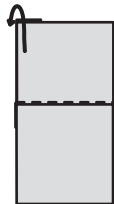
- 4 たにおりを したところ



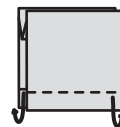
- 5 うらがえして たてながにして はんぶんにおる



- 6 したを すこしのこして おりかえす



- 7 はんたいがわも おなじように したをのこして おる



- 8 りょうほうの はねのはしを すこし おりまげる



- 9 りょうほうの はねを ひろげ かたちを ととのえる



- 10 ひこうきの できあがり